

Press Release



2024年10月1日

日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社
中部電力ミライズ株式会社

日本ペイント・オートモーティブコーティングスと 中部電力ミライズによる 営農型オフサイトPPAサービスの開始

日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社（代表取締役社長：西村 智志、以下「NPAC」）と中部電力ミライズ株式会社（代表取締役：神谷 泰範、以下「中部電力ミライズ」）は、本日から、NPAC 専用の「営農型太陽光発電所」を活用したオフサイト PPA サービス^{※1}（以下「本サービス」）を開始いたしました。

※1 敷地外に設置した太陽光発電設備などから、電力系統設備を介して電気を購入するサービス。

自動車用塗料の開発・製造・販売等を手掛ける NPAC は、本サービスに基づき、愛知県内に新たに設置された太陽光発電所（パネル出力：約 1,200kW）から中部電力ミライズが調達した電気を、愛知高浜工場（愛知県高浜市）において、契約期間である 20 年間にわたり使用いたします。本サービスの導入により、愛知高浜工場で使用する太陽光発電の電気は、年間で約 150 万 kWh となる見込みです。これにより、愛知高浜工場の電気使用に伴う CO₂ 排出量を年間で約 632 トン（約 15%）削減することができます。

本サービスで活用する太陽光発電所は、太陽光パネルの下で農作物^{※2}を栽培する「営農型太陽光発電所」であり、営農事業者が農作物の販売に加え、売電による収入を得られることから、農業経営の支援にも貢献いたします。

※2 本サービスで活用する太陽光発電所では、レモンを栽培する予定。

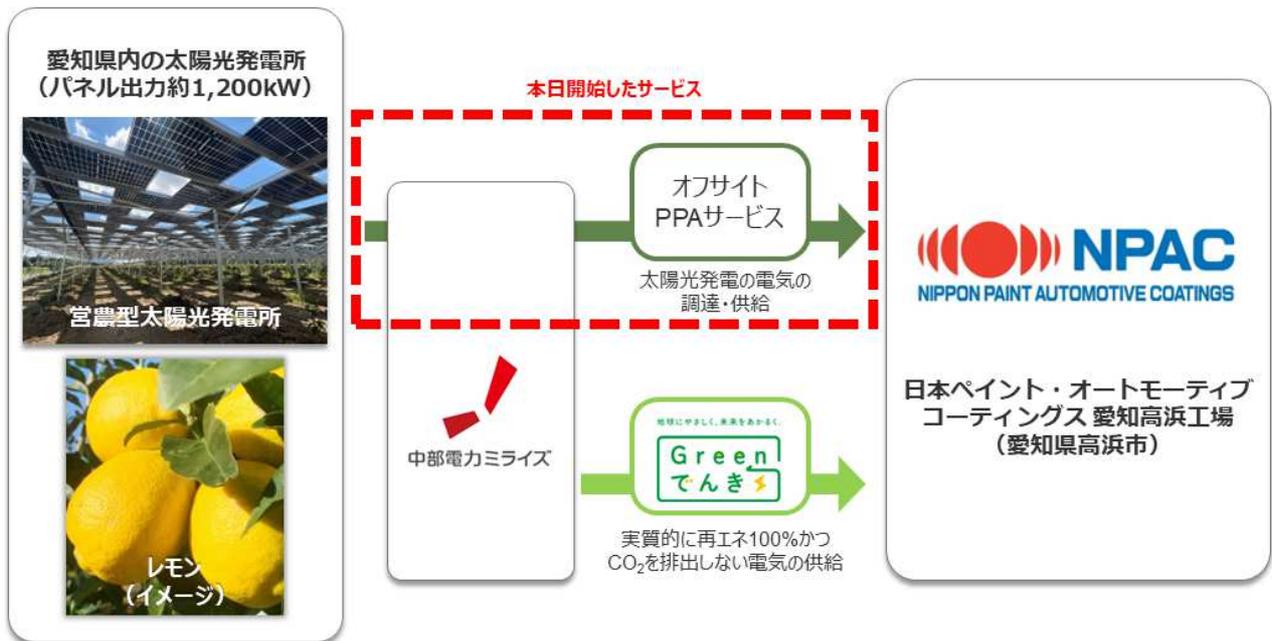
また、NPAC は、2022 年 2 月から、中部電力ミライズが提供する「Green でんき」^{※3}を愛知高浜工場で活用しております。「Green でんき」に加え、本サービスを導入することにより、愛知高浜工場で使用する電気のうち約 70%が CO₂ フリーとなり、愛知高浜工場の電気使用に伴う CO₂ 排出量を年間で約 3,040 トン削減する見込みです。

※3 中部電力グループが保有する水力発電所等の再エネ電源に由来する非化石証書を使用し、実質的に再生可能エネルギー100%かつCO₂を排出しない電気を提供するサービス。

「2050 年カーボンニュートラル」の達成に向けて、現在、自動車業界のサプライチェーン全体で脱炭素化に向けた取り組みが求められています。その中で NPAC は、自社活動における GHG（温室効果ガス）削減を進めており、GHG スコープ 1 およびスコープ 2 を 2050 年までにネットゼロ、2030 年までに 37%削減（2019 年比）することを目標としています。また、水使用量と廃棄物発生量は、2030 年までに原単位で 10%削減（2021 年比）することを目指しています。

NPAC はこれらの目標達成に向け、このたび、オフサイト PPA サービスを導入し、脱炭素社会の実現に向けてさらなる一歩を踏み出しました。

NPAC と中部電力ミライズは、今後も再生可能エネルギー由来の電気の活用を進めることで、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



オフサイト PPA サービス・「Green でんき」の概要

以上



「みんなで脱炭素プロジェクト」
ロゴマーク

「みんなで脱炭素プロジェクト」は、中部電力ミライズが企業のみならずみなさまとともに再エネを増やし、有効活用することを進めていく参加型の取り組みです。

NPACは、オフサイト PPA サービス・Green でんきの活用を通じて、同プロジェクトに参加し、脱炭素社会の実現に貢献しています。

<お問い合わせ先>

日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社 戦略企画部 中根 072-857-5530
中部電力ミライズ株式会社 業務管理・支援本部 総務グループ 飯田・福谷 052-740-6854